

# 活動情報

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290

E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

園芸畜産課

No. 25 (令和8年2月9日)

## 気候変動への適応に向けた研修会を開催

令和8年1月29日に、京築地域農業・農村活性化協議会が主催し、「気候変動への適応に向けた研修会」を築上町コミュニティーセンター・ソピアで開催しました。会場には認定農業者の他、市町、JA、農業共済、農林事務所等の関係者で総勢84人が集まりました。

研修会は2部構成で、前半は九州大学大学院農学研究院の廣田知良教授を講師に招き、「気候変動の今後の見通しと農業への影響と適応」と題して、近年の日本の気候の特徴と今後の傾向に加え、米、麦、大豆や野菜、果樹についての適応策等について講演が行われました。講演後の質疑では、土づくりによる気候変動への適応に加え、麦刈りや田植えの作業時期の前進化、気候変動が麦の生育ステージに及ぼす影響について議論が交わされました。

後半は、京築普及指導センターが実施した「気候変動に対応した栽培技術実証ほ」の成果発表を行い、水田、野菜、果樹、花きの各部門から計16課題について、実証ほの結果および今後の対応を報告しました。発表後の質疑では、水稻の再生二期作、イチゴの超短期株冷、保水剤EFポリマーの汎用性について議論が交わされました。廣田教授からは、実証ほの活用の方向性について質問があり、成果が得られた技術は普及へと移し、結果が判然としない技術は継続または新たな方策を検討していくことを説明したところ、情報交換や技術実証について、協力できることがあれば行いたいとの前向きな声をいただきました。

普及指導センターは今後も気候変動に対応した栽培技術の確立と普及に向けた支援に取り組めます。



真剣な様子で講演を聞く参加者